

## 活動報告会及び特別講演会 報告

2025 年 7 月 25 日（金）にホテル札幌ガーデンパレスにて、2025 年度水元技術士会活動報告および特別講演会を開催しましたので、その概要を報告します。今回も前回に引き続き遠隔地の方にも広く参加していただけるよう Web 併用でのハイブリット形式で開催いたしました。Web での参加も東海及び関東方面から約 30 名の方が参加され、会場には来賓として日本技術士会北海道本部の金秀俊本部長、室蘭工業大学同窓会会長高宮則夫さまをお招きして総勢 70 名での開催となりました。

### ■活動報告（写真-1）

令和 6 年度活動報告及び令和 7 年度活動計画および予算を熊倉幹事長が報告されました。続いて



写真-1 田中会長挨拶

今年度の役員改選の内容が発表されました。

### ■特別講演会（写真-2）

初めに水元技術士会の田中輝幸会長が開会挨拶をされた後、講演会は室蘭工業大学 MONO づくりみらい共創機構の後援をいただき開催されました。講演は、室蘭工業大学しくみ解明系領域・システム情報学ユニット助教 寺岡諒氏から、「バーチャルリアリティは“古い”



写真-2 会場の様子

をどう変えるか？」



写真-3 講演会の様子

～実験心理学が明らかにする感覚と認知の変容～と題して、行われました（写真-3）。講演の概要は以下の通りです。

- ・実験心理学とは人間が刺激を観察した際の反応・生理信号を用いて心の機能を解明する学問
  - ・老いによって身体機能（筋力、精神状態、認知機能）が低下する
  - ・補聴器を使うことにより認知症の予防になる
  - ・高齢者はデジタル後進層ではなく、以下の理由により VR-SNS の利用拡大が増える可能性が高い
  - ・VR 環境では寝たきりの人でも運動イメージが強化され、脳の運動ネットワークのトレーニングができる
  - ・体力の低下を理由に外出が減少→VR により仮想空間での会話や旅行、活動で孤立を解消でき、うつ・不安・認知症リスクを低減できる
  - ・高齢者が VR 空間でアバターを利用することで、身体的困難や老いの現実から解放され、実際の所作も若々しくなる
  - ・高齢期を“人生の終末”でなく“新たな経験の時期”とするために、VR 技術は強力な支援手段となる可能性がある
  - ・VR は“古い”とともに狭まる現実世界を再び拡張する手段→VR によって“古い”は再定義される
- といった様々な研究成果を紹介していただきました。

### ■懇親会

続いて日本技術士会北海道本部 金秀俊本部長のご挨拶（写真-4）と



写真-4 金本部長挨拶

室蘭工業大学同窓

会の高宮会長、MONO づくりみらい共創機構副機構長・地域共創オフィス長の吉成さまにご挨拶をいただいた後、室蘭工業大学同窓会札幌支部 中村支部長の乾杯の発声により和やかな雰囲気懇親会がスタートいたしました。最後は水元技術士会 谷村副会長の挨拶をもって閉会いたしました。